

# 未来志創

## よし！廣晴ろう！

昨日、前期考査に向けて自習する時間がありました。「課題を頑張ろう」というクラスの目標のもと、一人一人が集中して静かで落ち着いた空気が流れていました。「誰かと比べる」のではなく、「自分のベストを尽くす」ことが大切です。過去の自分をちょっとだけでも超えられるよう頑張りましょう。

## 人生の方程式とは・・・??

人生をよりよく生き、幸福という果実を得るにはどうすればよいか。そのことを私は一つの方程式で表現しています。それは、次のようなものです。

人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力

つまり、人生や仕事の成果は、これら三つの要素の“掛け算”によって得られるものであり、けっして“足し算”ではないのです。

まず、能力とは財力や知能といいかえてもよいのですが、多分に先天的な資質を意味します。健康、運動神経などもこれにあたるでしょう。また熱意とは、事をなそうとする情熱や努力する心のことです。これは自分の意思でコントロールできる後天的な要素。どちらも0点から100点まで点数がつけられます。

掛け算ですから、能力があっても熱意に乏しければ、いい結果は出ません。逆に能力がなくても、そのことを自覚して、人生や仕事に燃えるような情熱であれば、先天的な能力に恵まれた人よりはるかにいい結果を得られます。

そして最初の「考え方」。三つの要素のなかではもっとも大事なもので、この考え方次第で人生は決まってしまうといっても過言ではありません。考え方という言葉は漠然としていますが、いわば心のあり方や生きる姿勢、これまで記してきた哲学、理念や思想なども含まれます。

この考え方が大事なのは、これにはマイナスポイントがあるからです。0点までだけではなく、その下のマイナス点もある。つまり、プラス100点からマイナス100点までと点数の幅が広いのです。

したがってさっきもいったように、能力と熱意に恵まれながらも考え方の方向が間違っていると、それだけでネガティブな成果を招いてしまう。考え方がマイナスなら掛け算をすればマイナスにしかならないからです。

～中略～

では、「プラス方向」の考え方とは、どんなものでしょう。むずかしく考える必要はありません。それは常識的に判断されうる「よい心」のことだと思っていただければよいでしょう。

つねに前向きで建設的であること。感謝の心を持ち、みんなといっしょに歩もうという協調性を有していること。明るく肯定的であること。善意に満ち、思いやりがあり、やさしい心をもっていること。努力を惜しまないこと。足るを知り、利己的でなく、強欲ではないことなどです。

『生き方』(稲盛和夫)

## 答えは自分自身の心の中にある・・・

「グリム童話のオオカミと七匹の子ヤギの話知ってる？」

「ええ、お母さんヤギが留守の間にオオカミがやって来るんだけど、子ヤギたちが声が違うとか、毛の色が違うとかいって追い返すんですね」

「そう、そのお話。そのオオカミってすごいと思わない？」

「え？」

「オオカミは何度か断られるんだけど結局子ヤギの家の戸は開いちゃうんだよね。なんでだと思う？」

「……」

「それは…子ヤギたちにガラガラ声がおかしいと言われれば声を直し、毛の色がおかしいと言われれば白粉をつけ、そうやってどんどんお母さんヤギに似せていくのよね。つまり結果的に子ヤギたちのしていたことはオオカミの撃退ではなく、オオカミがお母さんヤギになるためのアドバイスだったと思わない？」

『Life is Beautiful ～自分の人生の主役になる～』(岡根芳樹)

ものの見方や考え方は、見る角度を変えてみるだけで、いろいろな広がりを生みます。そして、そこから選んでいるのは紛れもなく「自分」自身ですね。